

JALふるさとアンバサダーGLOBALが来町



インバウンド誘致のための環境調査や、海外に向けた日本の魅力を発信する「JALふるさとアンバサダーGLOBAL」として活躍するマックスさん(タイ)とジェイドさん(台湾)が、6月14日に来町されました。

普段は自国で客室乗務員として勤務されているお二人ですが、今回美郷町の観光コンテンツを体験し、SNS等を通じて美郷町の魅力を発信するため来町されました。今後、インバウンド誘客につながる取り組みが行われていく予定です。

福祉の道に向かって

六郷高校福祉科第20期生宣誓式

六郷高校福祉科第20期生宣誓式が5月23日に同校体育館で行われました。式では、実習着に身を包んだ2年生14名を代表して、福原楓雅さんが誓いの言葉を述べました。今後、福祉科20期生の皆さんは介護福祉の本格的な専門教科「福祉」の学習や、校外での実習に取り組んでいきます。



福原楓雅さん

田植えや花の定植などに挑戦!

六郷高校の生徒が農業体験

六郷高校の農業体験が5月25日に町内の都市農村交流推進協議会会員農家5戸で行われ、同校1年生36名が参加しました。この取り組みは地場産業を学び、体験することで、働くことの大切さを学ぶために行われています。当日は、苗箱の田植機への積載や花の定植などの作業を行い、じかに農業へ触れる貴重な体験をしました。



秋田大学特別協力

ウォーキング教室

美郷町と連携協定を締結している秋田大学の特別協力のもと「ウォーキング教室」が、6月4日に美郷町住民活動センターで開催されました。当日は秋田大学大学院整形外科学講座の宮腰尚久教授が「ロコモ予防とからだに負担をかけないウォーキング」と題して講演した後、秋田大学医学部付属病院の大屋敬太先生が、正しい歩き方について実演を交えながら、60名の参加者に指導しました。参加者からは「ただ歩くのではなく、今日教わったことを意識して歩こうと思う」といった声が聞かれました。



宮腰尚久教授



大屋敬太先生



ラベンダーを剪定

JAL地域貢献活動 in MISATO

美郷町と連携協定を締結している日本航空株式会社による「JAL地域貢献活動 in MISATO」が、6月7日に美郷町ラベンダー園で行われました。当日は強い日差しが降り注ぐ中、秋田支店の職員4名がラベンダーの栽培管理を行っている株式会社美郷の大地の職員に教わりながら、枯れている枝を丁寧に切り落としました。



MISATOPICS

町の話



ご長寿おめでとうございます

福島カツさんが満100歳に

6月1日に満100歳の誕生日を迎えられた福島カツさん(小荒川)のもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。「おめでとうございます。大正・昭和・平成・令和の時代を生きてこられて、今もお元気でいらっしゃることは、本当に素晴らしいことです」と松田町長が声を掛けると、福島さんは「ありがとうございます」と笑顔で答えられました。

7人きょうだいの5人目として生まれ育った実家は、旧六郷町で代々続く食品製造業を営んでいました。若いころは、朝早くから家業を手伝った後、六郷町役場へ勤めに行っていたそうです。昭和18年に結婚、女3人の子どもの恵まれました。終戦後に開業した雑貨店は目が回る程の忙しさで、懸命に働いたそうです。

数年前までは、趣味で手編み、絞り染め、折り紙、袋づくりなどをしていました。現在は、自宅でのんびりゆったり過ごしています。



長生きの秘訣は、毎朝のブラックコーヒー、食事はゆっくり食べることで、物事を良い方向に考えることとおっしゃっていました。これからも元気で過ごしてください。

その当時まだ若かった私は、身のこなしに多少の自信がありました。脚立に登つてのひと仕事のと、私は脚立に掴まらず、両手に物を持った状態で後ろ向きに脚立を降り始めました。一段ずつ降りて行った途中、感覚的には有るはずのステップが無い。

誰しも、経験して初めてその重さを実感する言葉があります。自分にとっては「油断大敵」が正にその一つ。立场上、選挙を思い浮かべそうな感じですが、起点は別にあります。避(さか)ることは14年前のこの時期、凶(ま)らざるも私は近くの総合病院に入院してました。脚立から落ちて骨折したからです。理由は明快。油断です。

あつと言う間に背中から落下。即入院です。脚立を踏み外すかも、という意識が希薄だったため、油断以外の何ものでもありません。入院中は反省を超えた猛省でしたが、「後悔先に立たず」です。

「油断大敵」という言葉、あらゆる場面で使われています。そのためか、やや鈍感になっている向きもあります。しかし、真剣に大切な言葉です。その大切な言葉、今月から数カ月はみなさんで意識することが求められます。「熱中症」についてです。ニュースや新聞でよく耳にし、目にしますので、慣れっこになっていないでしょうか。他人事と思っていないでしょうか。そして、自

分は大丈夫という根拠の無い自信を持っていないでしょうか。その認識、危険です。以前と違い、猛暑日が平然と何日も続く近年、自分事として油断なく予防策に向き合うことが必要です。では何に注意して、どう対応すれば良いのかとなりますが、そのポイントを今月号の町広報で特集を組みました。是非ご覧いただくとともに、そのページを町広報から抜き取り、どこか目につくところにぶら下げてもらいたいと思います。常に注意を払う意識で、「油断大敵」を忘れない状況を作っていただきたいのです。

予防の基本はこまめな水分補給とのこと。じゃあ、こまめに泡の出る飲料はどうだ…となると思いますが、飲(の)べえさん、ごめんなさい。ダメです。

油断大敵

COLUMN WINDS
コラム
風

美郷町長
松田知己



▲ウォーキング教室であいさつをする松田町長